

まちかど

アルバム



鮮やかで緻密なティンガティンガの世界

サンドパルとっとり

8月25日(水)、鳥取砂丘情報館サンドパルとっとりで開催中の「ティンガティンガアート展」で、作者の1人、ムスターファ・アブダラ・ユスフさんが公開制作を行いました。アフリカの自然を豊かな色彩で自由に描いたティンガティンガ。今回の展示は、砂の美術館第4期展示のテーマ、アフリカにちなんで開催されたもので、10月31日(日)まで開催されています。入場無料。

華麗なテクニックで観客を魅了

鹿野町鬼入道

9月5日(日)、鹿野町鬼入道のHIROスポーツパークで「2010全日本トライアル選手権第5戦中国大会」が行われました。自然の岩場や急斜面などを、オートバイで足を着かずに走り抜けるこの競技。トップライダー125人が日ごろ鍛えた技術を競い、静かな山あいに観客の声援が響きました。今期から国際A級クラスに参戦した鹿野町今市の山本直樹選手は、地元開催のプレッシャーを見事はねのけ、初優勝を飾りました。



おう穴で涼を満喫

用瀬町赤波

8月29日(日)、赤波川渓谷のおう穴群で恒例の「おう穴まつり」が開催されました。今回は"まち"と"むら"との交流ということで、地元大村地区のほか、市街地の城北地区などから約130人が参加。おう穴群を散策しながらクイズを解くウォークラリーや、マンガン鉱採掘跡地の見学などを通して、地域の歴史と自然に触れました。とりわけ、おう穴の形状を利用した自然のスリル満点のウォーターライダーは、子どもたちに大人気でした。



勇壮な傘踊りの競演

因幡万葉歴史館

8月22日(日)、因幡万葉歴史館で「第13回因幡の傘踊りの祭典」が開催されました。会場には約千人の観客が訪れ、市内外から集まった18団体の演舞を觀賞。次々と繰り出される凛とした勇壮な舞に、拍手喝采を送っていました。また、会場には傘踊りの体験コーナーが設けられ、「国府町因幡の傘踊り保存会」のメンバーに教わりながら、傘踊りに挑戦する人たちもいました。



日・中・韓シンポジウムで相互理解を深める

青谷高校

9月3日（金）、青谷高校で「第14回日・中・韓高校生国際シンポジウム」が開催されました。「21世紀に生きるアジアの一員として」をテーマに、中国健雄職業技術学院、韓国居昌中央高等学校、青谷高校からそれぞれ、代表生徒がパネリストとして出演。人と人とのつながりについて、意見発表と意見交換を行い、若者の必需品となっている携帯電話への依存を例に、直接会って会話することの大切さなどを話し合いました。



熱さに負けず たすきつなく

おうさか
気高町逢坂地区

8月29日（日）、焼けるような暑さのなか、第6回鳥取市西部地域交流駅伝大会が開催されました。今回は、地区対抗の部に気高、鹿野、青谷の西部地域から6チーム、各種団体の部に県東部から18チームが参加。逢坂地区公民館を発着点とする15㎞のコースを、6人の選手がたすきをつなぎました。12歳の小学生から68歳の最高齢者まで、日ごろ鍛えた健脚を存分に披露する114人の選手たちに、沿道からは大きな声援が送られました。



勝利の鍵はチームワーク

コカ・コーラ ウェストスポーツパーク

9月5日（日）、第12回全国社会人ゲートボール大会が、コカ・コーラ ウェストスポーツパークで開催されました。職場の仲間5人が1チームとなって、相手チームと合計得点を競うこの大会に、全国から37チームが参加。この日は、前日行われたリーグ戦の上位12チームがトーナメント戦を戦い、36度を超える猛暑のなか、息の合ったプレーで優勝を目指しました。



美容と健康は永遠のテーマ

佐治地区公民館

8月24日（火）、佐治地区公民館で「美容と健康」をテーマに、アロエのローションを作る講座が開催されました。講師は、佐治町加瀬木の西尾則子さんと同町福園の谷上克江さん。包丁でアロエの皮を取り除いて搾った後、グリセリンを混ぜて天然の化粧水を完成させました。完成後は、ハーブティーを飲みながら美容と健康についての会話が弾み、自然とみなさん笑顔に…。美容効果がさらに高まったようです。



いざというときに備えて

青谷小学校

9月10日（金）、市内一円で「第33回鳥取市総合防災訓練」が行われました。これは、昭和18年9月10日に発生した鳥取大地震を教訓にしようと、毎年実施されているものです。会場の一つ、青谷小学校では、児童と教職員が校庭へ避難した後、地元住民と一緒にバケツリレーによる消火訓練を行いました。また、消火器を使った消火訓練では、参加者が消防署員の指導を受けながら、火の風上に立って懸命に消火していました。

